

2022年3月27日(日) 保険業務研修会
-乳癌におけるチェック式トレーシングレポートの有効活用-

乳癌注射薬トレーシングレポートを 用いた運用について



原 祐輔

金沢大学附属病院 薬剤部



令和3年度 保険業務研修会 COI 開示

発表演者名:原 祐輔
今回の演題発表に関連して
開示すべき利益相反はありません。

<使用されるツール>

・施設間情報提供書・トレーシングレポート(以下、TR)

(裏面)

(表面)

患者様へ
この紙は、処方箋と一緒に調剤薬局へお渡しください。
治療の経過について、薬剤師の先生から後日電話で聞き取りをさせていただきます。
聞き取りした内容は、医師が確認し次回受診時の目安にしますので
ご協力をお願いいたします。

施設間情報連絡書

調剤薬局 御中

金沢大学附属病院
乳腺外科

当用紙を持参された患者様の服薬指導にあたり
裏面の「化学療法副作用問診票」を用いた情報提供をお願いします。

※本日の容態は聞き取りましたので、約 週間後の容態をお聞きいただけますと幸いです

コメント

特に変わったことはありません

<本日投与したレジメン名>

トレーシングレポートに関する相談窓口
外来化学療法センター
TEL：076-265-2000（内線：7045）

化学療法副作用問診票トレーシングレポート

報告日： 年 月 日

金沢大学附属病院 乳腺外科 御中

レジメン名： 保険薬局名
薬剤師氏名
住 所
電 話 番 号
FAX番号

担当医		患者氏名	
処方箋発行日		患者ID	
<input type="checkbox"/> この情報を伝えることに対して同意を得た（患者本人・家族・他）		生年月日	
<input type="checkbox"/> 電話フォローアップ不可のため下記空欄にてFAX送付します		性別	男 ・ 女

聞き取り日： 月 日 聞き取り方： 電話 その他（ ）

アドヒアランス	口良好	口不良（ ）		
副作用モニタリング（有害事象共通用語基準v5.0） ※当てはまる状態にチェックをお願いします				
Grade	発現時期	1	2	3
悪心	なし 月 日から	吐き気はあったが 食事摂取量は変わらず	吐き気で食事量が減った	吐き気で 食事が摂れない
下痢	なし 月 日から	普段より1～3回/日多い	普段より4～6回/日多い	普段より7回/日以上多い
末梢神経障害	なし 月 日から	多少痺れはあるが 日常生活に支障はない	痺れにより動作に支障は認められるが 日常生活に支障はない	痺れにより 日常生活に支障がある
筋肉痛 関節痛	なし 月 日から	軽度の疼痛	中等度の疼痛 日常生活に支障はない	高度の疼痛 日常生活に支障がある
口腔粘膜炎	なし 月 日から	軽度の痛みで 食事摂取量は変わらず	痛みを認め 食事に工夫を要する	痛みが強く 食事が摂れない
倦怠感	なし 月 日から	だるさがある または元気がない	身の回りの日常生活動作を 制限するだるさがある	身の回りの日常生活動作を 制限するだるさがある
発熱	なし 月 日から	37.5-39℃	39-40℃	>40℃
呼吸困難	なし 月 日から	中等度の労作に 伴う息切れ	極めて軽度の労作に 伴う息切れ	安静時の労作に 伴う息切れ

その他、確認すべき副作用症状

※色がついている部分に該当した場合、患者様に外来へのご相談を促して下さい（乳腺外科外来：076-265-2921）
※発熱の有害事象共通用語基準v5.0 Grade1・38℃→37.5℃へ変更

・その他気になる症状や副作用：浮腫、皮膚障害、味覚障害、不眠、咳嗽、嘔吐など

・副作用に関する具体的な内容や指示した対応法

・疑問点、次回外来時の希望内容

医療機関からの返答

※この情報伝達は疑義照会ではありません
↑ FAX送信：金沢大学附属病院 薬剤部 ↑
076-234-4280

表面＝情報提供依頼書

医師が患者さんへ配付



患者 医師

調剤薬局に持参してください

患者が調剤薬局へ持参



薬剤師 患者

先生に持参するよう言われました

副作用状況等の確認依頼

- レジメンや投与サイクルによって電話の予定目安が異なります

患者様へ

この紙は、処方箋と一緒に調剤薬局へお渡しください。
治療の経過について、薬剤師の先生から後日電話で聞き取りをさせていただきます。
聞き取りした内容は、医師が確認し次回受診時の目安にしますのでご協力をお願いいたします。

施設間情報連絡書

調剤薬局 御中

金沢大学附属病院
乳腺外科

当用紙を持参された患者様の服薬指導にあたり裏面の「化学療法副作用問診票」を用いた情報提供をお願いします。

※本日の容態は聞き取りましたので、約 週間後の容態をお聞きいただけますと幸いです

コメント

特に変わったことはありません

<本日投与したレジメン名>

トレーシングレポートに関する相談窓口
外来化学療法センター
TEL：076-265-2000（内線：7045）

裏面＝トレーシングレポート

指定期間に副作用確認を実施(テレフォンフォローアップ)



お薬はちゃんと飲めていますか？
体調にお変わりはないですか？

薬剤師

トレーシングレポートに記入後、FAXにて送信



本日投与されたレジメン(抗がん剤)

- レジメン内容の詳細は、金沢大学附属病院薬剤部ホームページを参照(連携充実加算)

チェック式で記入できる簡易型フォーマット

- 自宅での副作用状況を確認(一般的な副作用症状)
- 色がついている部分は、外来へ電話相談を促す目安
- チェック式以外の副作用症状の記載
- 薬局薬剤師側で対応していただいた内容記載
- 疑問点・次回外来時の希望内容

化学療法副作用問診票トレーシングレポート				
金沢大学附属病院 乳腺外科 御中				報告日: 年 月 日
レジメン名:			保険薬局名	薬剤師氏名
			住 所	電話番号
			FAX番号	
担当医	患者氏名			
処方箋発行日	患者ID			
□この情報を伝えることに対して同意を得た(患者本人・家族・他)			生年月日	
☑電話フォローアップ不可のため下記空欄にてFAX送付します			性別	男・女
聞き取り日: 月 日		聞き取り方: □電話 □その他()		
アドヒアランス		□良好 □不良()		
副作用モニタリング(有害事象共通用語基準v5.0) ※当てはまる状態にチェックをお願いします				
Grade	発現時期	1	2	3
悪心	なし 月 日から	吐き気はあったが食事摂取量は変わらず	吐き気で食事が減った	吐き気で食事が摂れない
下痢	なし 月 日から	普段より1~3回/日多い	普段より4~6回/日多い	普段より7回/日以上多い
末梢神経障害	なし 月 日から	多少痺れはあるが日常生活に支障はない	痺れにより動作に支障は認めるが日常生活に支障はない	痺れにより日常生活に支障がある
筋肉痛 関節痛	なし 月 日から	軽度の疼痛	中等度の疼痛 日常生活に支障はない	高度の疼痛 日常生活に支障がある
口腔粘膜炎	なし 月 日から	軽度の痛みで食事摂取量は変わらず	痛みを認め食事に工夫を要する	痛みが強く食事が摂れない
倦怠感	なし 月 日から	だるさがあるまたは元気がない	身の回り以外の日常生活動作を制限するだるさがある	身の回りの日常生活動作を制限するだるさがある
発熱	なし 月 日から	37.5-39℃	39-40℃	>40℃
呼吸困難	なし 月 日から	中等度の労作に伴う息切れ	極めて軽度の労作に伴う息切れ	安静時の労作に伴う息切れ
その他、確認すべき副作用症状				
※色がついている部分に該当した場合、患者様に外来へのご相談を促して下さい(乳腺外科外来:076-265-2921) ※発熱の有害事象共通用語基準v5.0 Grade1:38℃-37.5℃△変更				
<ul style="list-style-type: none"> ・その他気になる症状や副作用:浮腫、皮膚障害、味覚障害、不眠、咳嗽、嘔吐など ・副作用に関する具体的な内容や指示した対応法 ・疑問点、次回外来時の希望内容 				
医療機関からの返答				
※この情報伝達は疑義照会ではありません				
↑ FAX送信:金沢大学附属病院 薬剤部 ↓ 076-234-4280				

<運用・TRの流れ>

① 医師が**院外処方箋と一緒に**、**TR**を患者に配付。



② 患者は外来化学療法センターにて、注射用抗がん剤を投与。
帰宅前(後)にかかりつけ薬局へ。



③ 患者は薬局で院外処方箋とTRを渡す。
薬局薬剤師が薬剤指導を実施。



④ 指定期間に副作用確認(テレフォンプォローアップ)。
記載した**TR**をFAX送信。⇒ 送信先: 薬剤部。



⑤ **TR**は、乳腺外科・薬剤部で保管し情報共有・返信(医師)。





保険薬局の方へ

TOP > 保険薬局の方へ > 化学療法レジメン

化学療法レジメン

金沢大学附属病院 化学療法レジメン

金沢大学附属病院化学療法レジメンを閲覧いただく前に

「金沢大学附属病院化学療法レジメン」は、金沢大学附属病院のレジメン審査委員会で審査され、院内での使用を承認されたレジメンについて、その内容を保険薬局薬剤師などが活用できるよう公開しているものです。公開資料は、治療を受ける患者様の適切な投与管理に寄与する目的で公開しており、その他の目的での使用については想定しておりません。また、投与量や投与スケジュールを含むレジメン内容は、患者の状態によって変更される場合があります。上記内容に同意の上、閲覧ください。

金沢大学附属病院薬剤部

レジメン内容に関するお問い合わせ先

外来化学療法センター（混合調製室）

076-265-2000（内線7045）

*お問い合わせは16時までにお願ひします。

レジメン

- 脳
- 頭頸部
- 肺
- 乳腺
- 食道・胃
- 肝臓
- 脾・胆道
- [大腸](#)
- 泌尿器
- 女性器
- 皮膚
- 造血器
- 骨・軟部
- 神経内分泌
- その他

○臓器別に登録

○外来化学療法が可能なレジメン
を公開

○臓器別リンクからPDFが開く



化学療法治療計画書

乳腺34:Weekly パクリタキセル+アバスチン

記載日	診療科	医師	携帯
ID	年齢	歳	性別
病名	乳癌		
氏名	様	身長	cm
体重	kg	体表面積	m2
アレルギー・過敏症: 無 / 有			CVポート: 無 / 有 (腕・その他)
治療開始日	化学療法をうけるにあたってのインフォームドコンセント: 同意書取得済 <input type="checkbox"/>		
外来治療開始予定日	(コース	日目)
外来治療予定	コース		

(主治医→外来化学療法センター: 外来治療開始前々日までに提出してください)

化学療法内容

(1コース 4 週間)

Rp	薬剤名	標準量	投与量	投与スケジュール(日)				
				1	8	15	22	28
	レスタミンコーワ錠(10) 経口	5 T		↑	↑	↑	×	
	パクリタキセル開始30分前に内服							
1	デキササート(6.6mg/2mL)	1 V		↑	↑	↑	×	
	ガスター(20mg/2mL)	1 A						
	生食(50)	1 B						
	点滴静注	15 分						
2	生食(100)	1 B		↑	↑	↑	×	
	点滴静注	30 分						
3	パクリタキセル	※1 90 mg/m ²	mg	↑	↑	↑	×	
	ソルデム1(200)	1 B						
	点滴静注	60 分	投与量を記載					
4	アバスチン	10 mg/kg	mg	↑	×	↑	×	
	生食(100)	1 B						
	点滴静注	初回90分、2回目60分、以降30分	投与量を記載					
5	生食(50)	1 B		↑	↑	↑	×	
	点滴静注	全開でフラッシュ						

※1 投与時はインラインフィルターを用いる。アルコール過敏症の患者に投与不可。
アレルギー反応予防のため、前投薬として必ずH1拮抗薬とH2拮抗薬、ステロイド剤を用いる。

Weeklyパクリタキセル+アバスチン注 (1コース4週間)

エンハーツ注(1コース3週間)

化学療法治療計画書

乳腺57:エンハーツ

記載日	診療科	医師	携帯
ID	年齢	歳	性別
病名	HER2陽性乳癌		
氏名	様	身長	cm
体重	kg	体表面積	m2
アレルギー・過敏症: 無 / 有			CVポート: 無 / 有 (腕・その他)
治療開始日	化学療法をうけるにあたってのインフォームドコンセント: 同意書取得済 <input type="checkbox"/>		
外来治療開始予定日	(コース	日目)
外来治療予定	コース		

(主治医→外来化学療法センター: 外来治療開始前々日までに提出してください)

化学療法内容

(1コース 3 週間)

Rp	薬剤名	標準量	投与量	投与スケジュール(日)			
				1	8	15	21
1	デキササート(6.6mg/2mL)	1 V		↑	×	×	
	アロキンバッグ(0.75mg/50mL)	1 B					
	点滴静注	15 分					
2	5%ブドウ糖(100)	1 B		↑	×	×	
	点滴静注	全開でフラッシュ					
3	エンハーツ	※1 5.4 mg/kg	mg	↑	×	×	
	蒸留水(20)・・・溶解用	1 B					
	5%ブドウ糖(100)	1 B					
	点滴静注	初回90分、2回目以降30分	投与量を記載				
4	5%ブドウ糖(100)	1 B		↑	×	×	
	点滴静注	全開でフラッシュ					

◆ 制吐療法としてday2~3はデカドロン錠(0.5)を1日16T服用する(適宜増減可)。

※1 エンハーツ投与時はインラインフィルターを用い、点滴バッグを遮光する。

運用の紹介は以上となります。